

中島晴美 [陶芸家、多治見市陶磁器意匠研究所所長] 推薦

荻野由梨 Ogino Yuri

陶芸家

たたら成形／手びねり成形

私は粘土の柔らかな表情に魅力を感じ制作しています。粘土を積み上げていく中で出来る形には、自分でも気づかないような自己の内面が現われるように思います。

1992年 愛知県岡崎市生まれ
2017年 愛知教育大学大学院 教育学研究科芸術教育 専攻 美術科内容学領域 修了
2018年 多治見市陶磁器意匠研究所 セラミックスラボ 修了
現在 岐阜県多治見市在住、制作



駒井正人 [陶芸家、多治見市陶磁器意匠研究所職員] 推薦

五嶋穂波 Goshima Honami

陶磁作家

陶磁／たたら成形／型押し／手びねり

ふわりとした形状と流れるような釉薬を組み合わせ、全体として軽く心地よく感じるバランスを模索しています。土と釉薬が溶け合うことで、淡く複雑な色彩と柔らかな質感を楽しめる作品を目指しています。

1996年 岐阜県瑞浪市生まれ
現在 多治見市陶磁器意匠研究所 セラミックスラボ 所属
岐阜県瑞浪市在住、制作



伊村俊見 [陶芸家・岐阜県立多治見工業高等学校専攻科教諭] 推薦

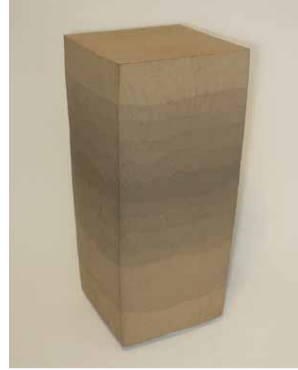
丹羽一尊 Niwa Kazutaka

陶芸家

手びねり／ひもづくり／粘土

自分にしかできないことよりも、自分ができることを見つめながら作品を制作しています。作品を手にとっていただくような機会はほとんど初めてのことですが、来場される皆様との出会いを楽しみにしています。

1984年 東京都生まれ
2021年 岐阜県立多治見工業高等学校 専攻科 修了
現在 岐阜県多治見市在住、制作



中島晴美 [陶芸家、多治見市陶磁器意匠研究所所長] 推薦

古井晶子 Furui Akiko

陶芸家

半磁器土／手びねり

曲立した土の紐の連なりから流れが生まれ、絡まった土片が荷重を分散しあって立ち上がる姿を追いかけています。

1987年 愛知県生まれ
2012年 愛知教育大学大学院 教育学研究科芸術教育 専攻 美術科内容学領域 修了
現在 愛知県在住、制作



吉川千香子 [陶芸家] 推薦

箕輪孝治 Minowa Takaharu

陶芸家

陶土／磁土／顔料

土は焼成のプロセスを通して、意図しない形になる。私は幼少期の記憶を辿り土を立ちあげ、泥を撫で付け、汚している。手から伝わる人の穢れは焼成を経て、現在に許された形になるのだ。

1995年 石川県金沢市生まれ
2016年 とこなめ陶の森陶芸研究所 卒業
現在 愛知県常滑市在住、制作



山本健史 [陶造形家、金沢美術工芸大学教授] 推薦

村田言恵 Murata Kotoe

陶作家

手びねり成形／高火度釉薬の特性を活かした加飾

私は「陶」という素材が好きです。土で造形する楽しさと、釉薬の美しさに惹かれ、陶芸という創作活動を続けています。そうして生み出した作品が、見る人使う人の心を豊かにする存在であれば幸いです。

1992年 石川県河北郡生まれ
2017年 金沢美術工芸大学 美術工芸研究科 修了
現在 富山県氷見市在住、制作



関連オンラインイベント1

工芸の次世代スターを探せ！審査員と見る、FPP Vol.5

ファシリテーター 秋元雄史 [練馬区美術館長・川村文化芸術振興財団評議員]
パネリスト 黒田耕治 [しぼや黒田陶苑]、小山登美夫 [TOMIO KOYAMA GALLERY]、遠山正道 [スマイルズ]、福田朋秋 [高島屋MD本部美術部]

10.29 (金) 10:30～12:00 会場収録
(先着15名様迄観覧受付・当日整理券配布10:00～)
10.30 (土) 10:00～ 川村文化芸術振興財団YouTubeチャンネルにて配信

関連オンラインイベント2

オンラインで買える！遠隔で支援購入しよう！

同時開催 FPP vol.5 オンライン展示会 (65日間限定)

10.28 (木) 15:00 → 12.31 (金) 24:00

<https://fpp.kacf.jp/>

3331 ART FAIR 2021会場への出展作品とは別の作品が出展。随時作品追加。あなたもファーストパトロンになって、若手工芸家のハジメテを応援しよう！

関連オンラインイベント3

出展作家リレートーク by Zoom / YouTube Live

- I 11.3 (水・祝) ……14:00～15:40 (100分)
荻野由梨 ● 村田言恵 ● 遠藤茜 ● 佐藤幸恵 ● ガラス ● 巨章吾 ● 木工
- II 11.13 (土) ……14:00～15:40 (100分)
五嶋穂波 ● 古井晶子 ● 小西紋野 ● 伴野崇 ● 竹岡健輔
- III 11.21 (日) ……14:00～15:40 (100分)
丹羽一尊 ● 齋藤みどり ● 梶男 ● 関水美穂 ● 染織 ● 濱口佳純 ● 金工
- IV 12.11 (土) ……14:00～15:40 (100分)
箕輪孝治 ● 望月美穂 ● 島田怜奈 ● 野口真愛 ● ガラス ● 石井祐果 ● 染織

参加申込 Zoomで直接作家と交流することができます！(無料)
Zoomでの参加お申込は fpp@kacf.jp まで

川村文化芸術振興財団 YouTube チャンネル ▶

ごあいさつ

若手工芸家の最初の一步を、社会全体で支える活動「ファースト・パトロンージュ・プログラム (FPP)」は、第5回目の開催を迎えます。今年は、コミュニケーションとインスピレーションの場、「3331 ART FAIR 2021」が舞台です。文化芸術を、購入することで積極的に支え、明日を拓く創作の源泉につなげていくとする両者の姿勢が重なり、このたび、「3331 ART FAIR 2021」との併催が実現しました。

第5回は、全国で活躍する著名な作家の方々に「埋もれている才能」をご推薦いただきました。その中から、技、個性、のびしろ、現代アートほかの新しい領域の視点を踏まえた上で、審査員によって出展作家20人が選出されました。未知数のポテンシャルを秘めたつくり手の次なる展開、次なる一步のために、ぜひ、会場へとお運びいただければと存じます。またオンラインでも複数のプログラムをご用意しています。今回も、ご支援のほどよろしくお申し込み申し上げます。

一般財団法人 川村文化芸術振興財団

【問合せ先】ファースト・パトロンージュ・プログラム事務局／一般財団法人川村文化芸術振興財団
<http://www.kacf.jp/> / 一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン (CoJ) <http://thecreationofjapan.or.jp/> / FPP事務局 (CoJ内) 〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-12 壹番館ビルディング3F TEL:03-3573-3339 FAX:03-3573-3315 E-mail:fpp@kacf.jp

富山耕治 [金属作家、金沢美術工芸大学教授] 推薦

濱口佳純 Hamaguchi Kasumi

鑄金作家

鑄金／金属／ガス型鑄造法／樹脂原型

日常にある一瞬の痕跡を金属に置き換え、日々の美しさ、大切さを込めた「みなも」の作品や、暮らしにそっと寄り添える鑄物の日用品など制作しています。作品を通して金属の温かさを感じて頂けたら幸いです。

1995年 熊本県生まれ
2019年 金沢美術工芸大学 大学院美術工芸研究科 修士課程 鑄金専攻 修了
現在 石川県在住、制作



中川周士 [中川木工芸比良工房主宰] 推薦

巨章吾 Watari Shogo

曲木造形作家

積層曲木 (技術) / 吉野檜 (素材)

自然が創る曲線の世界、人間が創る直線の世界。その両者の間に存在するであろう美を、吉野檜と曲木技術を用い表現しています。そこに木という素材の新たな造形的可能性があると確信し制作しています。

1987年 京都府京都市生まれ
2019年 中川木工芸比良工房入社
現在 京都府京都市在住、制作



ファースト・パトロンージュ・プログラム 第5回 2021秋

ご招待状

こしは 3331 ART FAIR 2021 に参加!

ハジメテを応援しよう

買ってあなたもファーストパトロンに!

工芸の次世代スターを発掘!

3331 ART FAIR

会期 10.29 (金), 30 (土) …… 12:00 - 20:00
10.31 (日) …… 12:00 - 18:30

* 入場は閉場の30分前まで

会場 3331 Arts Chiyoda B1F 特設会場

入場無料エリア・展示即売

〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14

東京メトロ「末広町」「湯島」、JR「御徒町」駅至近

※ 「3331 ART FAIR 2021」観覧には、料金一般2500円 / シニア (65歳以上) 2000円 / 学生1000円が別途かかります。

※ アクセスおよび、「3331 ART FAIR 2021」詳細は <https://artfair.3331.jp/> をご覧下さい。

オンライン展示会併催、遠隔で支援購入!

本展出品作家による別の作品が出展されます <https://fpp.kacf.jp/>

OPEN 10.28 (木) 15:00 → CLOSE 12.31 (金) 24:00

主催 一般財団法人川村文化芸術振興財団
協力 一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン (CoJ)
株式会社 WETCH
特別協力 3331 Arts Chiyoda
認定 公益社団法人 企業メセナ協議会



FIRST PATRONAGE PROGRAM 2021

中島晴美 [陶芸家、多治見市陶磁器意匠研究所所長] 推薦

望月美鶴 Mochizuki Mitsuru

陶芸作家

手びねり／陶土／泥漿

手びねりで成形した棘を規則的に集積した作品です。細い棘や接着面は窯の熱で動きを得、温度が下がると緊張感のある体を成します。この焼成による変化を経て初めて作品が生まれるような感覚を大切に制作しています。

1987年 愛知県生まれ
2011年 愛知教育大学大学院
教育学研究科芸術教育
専攻 美術科内容学領域
修了
現在 愛知県長久手市在住、制作



田中知行 [漆造形家、金沢美術工芸大学教授] 推薦

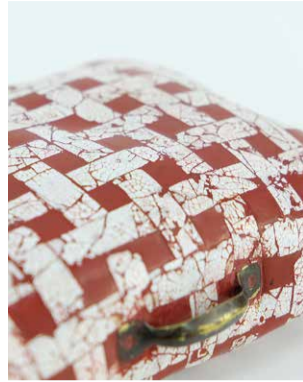
遠藤 茜 Endo Akane

漆工／造形作家

乾漆技法／変わり塗り

主に漆を用いて、家・労働・複製性をテーマに立体作品を制作します。漆の独特な制作プロセスに着目し、より創造的でラフな工芸作品を制作することを目的としています。

1997年 岡山県生まれ
現在 金沢美術工芸大学大学院
美術工芸研究科 工芸専攻
修士課程2年 在籍
石川県金沢市在住、制作



若宮隆志 [彦十蒔絵プロデューサー、2014年度文化庁文化交流使] 推薦

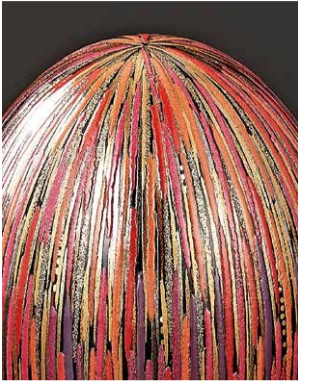
小西紋野 Konishi Ayano

蒔絵アーティスト

金銀粉・色漆・螺鈿・卵殻等を用いた研出蒔絵／高蒔絵／及び新しい素材・技法の研究

螺鈿・卵殻など貼りものの材料は使いこなしつつも、金銀粉や色漆を用いた筆使いの生きる作品を心掛けています。色漆は鮮やかな発色の調合にこだわり、色彩豊かな表現を目指しています。

1983年 東京都立川市生まれ
2011年 石川県立輪島漆芸技術
研修所 普通研修課程
蒔絵科 卒業
現在 石川県輪島市在住、制作



田中知行 [漆造形家、金沢美術工芸大学教授] 推薦

齋藤 みどり Saitou Midori

漆芸作家

乾漆／漆縮み

漆の「縮み」という特性を用いて作品制作をしています。美しい艶や華やかな加飾とは異なる漆の一面として面白みを感じていただければ幸いです。

1992年 神奈川県横浜市生まれ
2017年 金沢美術工芸大学
大学院美術工芸研究科
工芸専攻 修士課程 修了
現在 石川県金沢市在住、制作



若宮隆志 [彦十蒔絵プロデューサー、2014年度文化庁文化交流使] 推薦

島田怜奈 Shimada Layna

蒔絵アーティスト

蒔絵／箔絵／彩度の高い漆絵

小さな感動を手にとって過ごせたら一日がもっと楽しくならないかな? と、その時々で楽しい! と感じたものを模様落とし込んでいます。作品に触れた人と新鮮な気持ちを共有したいと思って制作しています。

1987年 北海道網走市生まれ
2011年 石川県立輪島漆芸技術研
修所 蒔絵科 修了
2014年 重要無形文化財輪島塗技
術伝承者養成事業伝承者
現在 石川県輪島市在住、制作



田中知行 [漆造形家、金沢美術工芸大学教授] 推薦

晁 男 Chao Nan

漆造形作家

漆の乾漆技法

漆の艶の塗り面に、深いところまで沈んでいくように見える感覚、微妙に異なる不思議なものに惹き付けられて、今まで漆制作を続けてきました。漆の未知の力を新たに見つけ、作品を作りたいと考えています。

1990年 中国唐山生まれ
2017年 金沢美術工芸大学
大学院 修了
現在 金沢美術工芸大学 大学院
美術工芸研究科 博士課程 在籍
石川県金沢市在住、制作



小森邦衛 [漆芸家、重要無形文化財「髹漆」保持者] 推薦

伴野 崇 Tomono Takashi

漆芸家

髹漆

漆の素材が本来もつ優れた実用性と艶やかな質感の魅力を最大限引き出すことを理念とし、使う人のことと自分らしさとのバランスを探求し制作に励んでいます。

1983年 長野県佐久市生まれ
2013年 石川県立輪島漆芸技術研
修所 髹漆科 卒業
現在 長野県南佐久郡在住、制作



齋藤敏寿 [作陶家、筑波大学芸術系准教授] 推薦

佐藤幸恵 Satoh Yukie

ガラス作家

ガラスキャストイング(casting)

ガラスを溶かし型に流し入れることによって偶発的に生まれる事象を利用しながら、金属や陶磁の欠片を組み合わせたオブジェを主に制作しています。

1986年 福島県出身
2009年 筑波大学芸術専門学群
構成専攻クラフト領域
ガラス分野 卒業
2011年 富山市立富山ガラス造形
研究所 造形科 卒業
現在 東京都都在住、制作



本郷仁 [ガラス造形家、富山市立富山ガラス造形研究所主任教授] 推薦

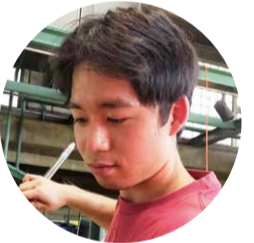
竹岡健輔 Takeoka Kensuke

ガラス作家

吹きガラス／ホットワーク／キルンワーク

私の作品づくりは竹工芸の編み方や構造、模様などから着想を得ています。ホットワークや電気炉を使った彫刻作品から、普段使いの器や花器なども制作しています。

1996年 神奈川県横浜市生まれ
2021年 富山市立富山ガラス造
形研究所 研究科 卒業
現在 富山県富山市在住、制作



本郷仁 [ガラス造形家、富山市立富山ガラス造形研究所主任教授] 推薦

野口真愛 Noguchi Mae

ガラス作家

ガラス／ホットワーク／ソリッドワーク

作品作りにおいて、ホットワークという技法を用いることでガラスの純粋さを保つことができると感じています。このガラスの最も特徴的で魅力的な素材感に惹かれ、主にオブジェを制作しています。

1993年 神奈川県横浜市生まれ
2021年 富山市立富山ガラス造形
研究所 造形科 卒業
現在 富山県富山市在住、制作



渡邊三奈子 [テキスタイル作家、女子美術大学教授] 推薦

石井佑果 Ishii Yūka

テキスタイル作家

綴織／かぎ針編み／異素材との組み合わせ

日常生活における身近なモノをモチーフにした綴織のタペストリー制作や、異素材を用いてかぎ針編みの立体造形をしています。

1997年 神奈川県横浜市生まれ
2021年 女子美術大学 芸術学部
デザイン・工芸学科
工芸専攻
テキスタイルコース
織 卒業
現在 神奈川県横浜市在住、制作



上原利丸 [染色家、東京藝術大学教授] 推薦

関水美穂 Sekimizu Miho

着物作家

型染／引き染め／ぼかし

花鳥風月のアップデートをテーマに、現代の自然をモチーフにした型染着物を制作。また、着物が持つ鑑賞性に着目し、アート作品としての着物を提案しています。

1987年 神奈川県藤沢市生まれ
2014年 東京藝術大学
大学院工芸分野
染織専攻 修了
現在 神奈川県藤沢市在住、制作

